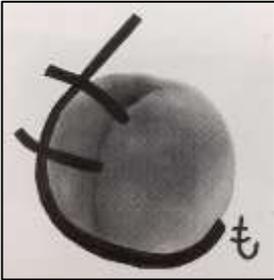


大項目	読むこと
小項目	ひらがなの読み
タイトル (教材名)	「絵＋文字」カード
目的 身につけてほしい 力	絵を用いた意味理解から音韻を想起させ、覚えて読むことのできる文字を増やす。
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字から連想できる絵を、児童生徒と相談して決める（「〇がつく言葉は？」等と発問）。</li> <li>・ 絵を用意する（手書きでも可）。</li> <li>・ 決めた絵の上に文字を書き、「絵＋文字」カードを作成する。</li> <li>・ 裏面には、文字のみを記載する。</li> </ul>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「絵＋文字」カードを見ながら、文字を読む。</li> <li>・ カードを裏返して文字のみで読む。</li> <li>・ カードの表と裏を繰り返しながら発声する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カードを作成するところから対象の児童生徒と一緒に作りオリジナルのものを作ることで、より覚えやすいカードになる。</li> <li>・ 形の簡単な画数の少ない文字から指導すると、取り組みやすい。</li> </ul>